



CASE

08

映像と連動した照明システム

Lighting system synchronized with projector.

オービィ横浜

Orbi Yokohama



■物件概要

竣工：2013年7月

所在地：神奈川県横浜市

施主：株式会社セガ

設計：株式会社 R&K インターナショナル、株式会社丹青社

施工：株式会社丹青社

これまでにない規模の映像館

MARK IS みなとみらいにあるオービィ横浜は、セガの革新的エンターテインメントと、BBC EARTH の専門知識と映像製作力を融合した共同プロジェクト世界第1号となる施設。映像だけでなく、全身の感覚を通じて大自然の神秘を感じることができる。これまでにない規模の映像館だったため、映像の光と照明を融合させることは非常に困難だった。また、横浜市独自の興業場照度規制があるため、非常時 150 lx の確保と運営時のバランスを取るために苦心し、高天井用特注器具を製作、対応した。

上：エントランス。

下：観客の動作に合わせて等身大のCGの動物たちが反応する「アニマルペディア」。天井高さ8mから安全確保のための必要照度を確保している。



POINT シーンに合わせて映像の光と照明を連動させる

オービィ横浜の主役は映像だが、匂いや風、霧、フラッシュライト、音響などの演出で総合的に自然を体験できる。照明に求められたのは照明が映像を邪魔せず、さらに映像と連動し調光・調色するシステムだった。前者を満たすためにグレアレス器具を使い、適切な配光角度を設定。後者を満たすためには特注 RGB 照明を製作し、高度な照明制御システムを構築した。

光を操る方法



大自然マッピング「ベースキャンプ」。背景の映像に合わせてマッピングされた生き物が変わる。地明かりには RGB スポットを使用。ブロックが詰まった壁面の前では、スタジオ用ピンスポット照明を設置、映像に光をかけずに写真撮影ができるようにしている。



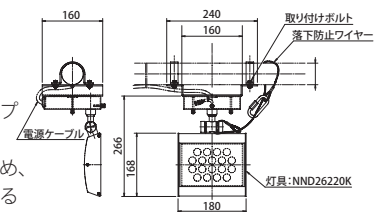
施設の目玉となる「シアター 23.4」。日本最大級となる幅 40m、高さ 8m のスクリーンに流れる映像に合わせ、天井の造作間接照明の色も変化する。



上：短焦点プロジェクターとグレアレスユニバーサルダウンライトによって、奥への安心感のある誘導を行い、グラフィックを見せながら中央の映像に光が掛からないように計画した。
 左下：海中散歩「ブルーレイヤー」。客席の光を映像で確保し、海の中のような雰囲気をつくった。
 右下：地球飛行「アースクルージング」。大型湾曲スクリーンと空撮映像により、仮想飛行体験ができる。
 ※掲載している写真はオープン当初のものです。

特注 RGB スポット
縮尺 1/10

トラスに取り付けられるハンガータイプの RGB スポット。
LED は低温に強いため、極寒の世界を体験する「マウントケニア」でも使用している。



長谷川 敦彦氏

株式会社セガ
エンタテインメントパーク事業部
エンタテインメントパーク事業企画部
コンセプトデザイン課 課長

特殊なニーズにも幅広く対応

多くの光や映像要素が混在した当施設の特種なニーズにも、幅広い視点から企画や商品を提案いただきました。施設をトータルで見させていただいたので安心して一緒に取り組むことができました。



博多 晃子

東京商業照明 EC